



「障害のある人にとって防災用に備えておくの良いものって？」
 「いざというとき誰かに助けに来てもらうにはどうすればいいかなあ？」
 「私の家のもよりの避難所ってどこ？」
 「行けば何でもそろってるの？ 薬がなくなったらどこで手に入れればいいの？」
 「避難所で静かに過ごせるか心配・・・」

などなど、支援を必要とする方々にとって災害時は困ることがたくさん予想されます。障害のある方々の防災対策について、わたしたちがこれまで話し合ったり取り組んだりしたことの中から、お役立ち情報をご紹介しますと思います。

★ 地域防災拠点に ありそうでないもの・・・！？ (シリーズ1)

保土ヶ谷区には**26ヶ所**に地域防災拠点があります。それぞれの備蓄庫には、「救助用品」「救護用品」「生活用品」「食料・水」など**38種類**の防災関連グッズを置いています。ところが・・・

食料・水

クラッカー	2000食
粉ミルク・哺乳瓶	19セット
おかゆ	440食
水缶詰	2000本

保土ヶ谷区の人口約20万人に対して、それぞれの防災拠点にある食料・水はこれだけ、**1000人の方の2回分**しかありません。

私たちは自分たちで3日分の食料や水を備えておく必要があります。防災拠点に行けば何とかかなと思わず、『自助』を大切に！

★ 出前講座を開催しています！！

(講座の説明や窓口は裏面をご覧ください。)

2011年度は次の4か所で実施しました。出前講座を通じて、障害のこと、災害時のこと考えてみませんか？

5/21 (土) 「福祉を考える会」
参加者：19名 (第2ダンボ)

7/23 (土) 「ヨコハマ・ヒューマン&テクノランド2011 (YOTEC)」
参加者：50名 (パシフィコ横浜)

9/19 (月・祝) 「百合ヶ丘自治会」
参加者：25名 (茶の木台・百合ヶ丘自治会館)

10/12 (水) 「保土ヶ谷中地区民児協」
参加者：10名 (保土ヶ谷二丁目自治会館)



写真はダンボでの講座の様子です。

<発行>

保土ヶ谷区地域自立支援協議会
防災部会

<連絡先> 保土ヶ谷区神戸町140-2

ほどがや地域活動ホームゆめ内

保土ヶ谷区地域自立支援協議会 事務局

TEL 045-340-3360